



広島中央トピックス



水稲省力化へ実証 無コーティング種子代かき同時播種

広島中央地域本部は、水稲栽培のコスト削減や省力化が期待できる無コーティング種子代かき同時播種栽培の実証試験に取り組んでいます。2023年産は管内13戸が6品種を12haで実証。技術を確立し、省力化した稲作の普及を目指します。

23年度は「あぎろまん」や「恋の予感」の他、酒造好適米「山田錦」などを作付けします。JAが播種機を貸し出し、作業の一部を代行。JA指導の下、生産者が機械を操作することで、次年度以降の普及拡大につなげます。播種後2週間は、営農指導員が全ての実証田を巡回して管理を徹底します。

同栽培法は、トラクターに専用の播種機を取り付け、代かきと同時に、催芽処理した種もみを播種、鎮圧します。育苗作業の他、代かきと同時播種で、大幅な労力軽減とコスト削減が期待できます。河内町の農事組合法人ふれあいファーム戸野は5月上旬、水田20aに播種しました。



▲無コーティング種子代かき同時播種栽培を確認する営農指導員ら



学ぼう食と農のつながり 食育体験!

JAは地域の農家と連携し、食と農の大切さを伝える食農教育活動に取り組んでいます。農業体験を通じ、子どもたちの農業の関心もすくすくと育つていきます。



ご協力していただいた皆さん、ありがとうございました

農家の皆さん・大和認定こども園・志和小学校・豊栄小学校・入野小学校・三永小学校・乃美尾小学校・食協(株)・(株)イズミ



水稲

幼穂形成期・

穂肥施用までの管理

◆水管理

稲は、中干し後から幼穂形成期にかけて根の伸長を促すために効果があり、根の健全化と地力維持を図る間断灌漑で水管理を行います。中干し後は土壌が乾いた状態なので、水の入れ方に注意してください。中干し後、一度に水を溜めてしまうと、稲は根腐れを起こします。1〜2回に分けて入水する走り水で稲を水に慣らし、その後は、徐々に間断灌漑に移行します。雨で十分な中干しができなかつた圃場は間断灌漑の落水期

間を少し長めにして土壌を乾かします。その際の落水期間の目安は田面から水が引いて2〜3日で、その後、入水します。穂肥施用前は水を溜めますが、雨などが予想される場合は田んぼの水があふれないよう調整してください。

◆穂肥

穂肥は必ず幼穂長を確認して施用してください。出穂の24日前頃を幼穂形成期といい、稲は葉を増やすのをやめて、茎の中で籾の集合体である穂を作ります。これを幼穂（穂の赤ちゃん）ともいいます。稲を割って幼穂が確認できたら穂肥を散布します。

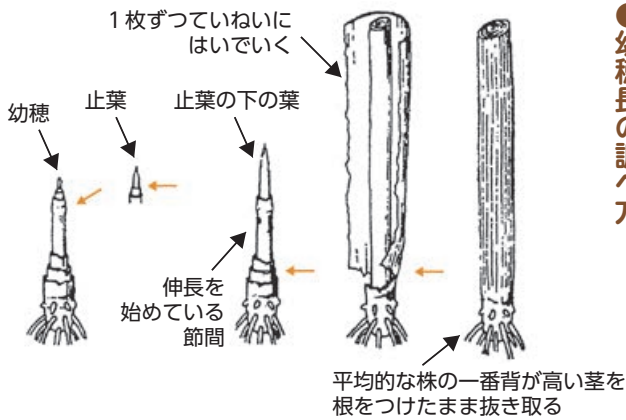
穂肥は一般的に2回に分けて施用します。これは栄養を補う時期によって目的が異なるからです。1回目の穂肥は、穂数・籾数の確保を目的とし、2回目は籾の実り（登熟）の向上を目的とします。どちらも散布には適正な時期と施用量があるので水稲栽培ごよみを参考に管理しましょう。

1回目の穂肥は、出穂24日前（幼穂形成期）頃に施用し、止葉

の成長を良くします。品種によっては若干散布の時期が異なります。コシヒカリは節間長（稲の節）が伸びやすく倒伏の恐れがあります。この節間長が伸びすぎないように、出穂18日前に1回目の穂肥を施用してください。施用量が多いと穂数・籾数は増えますが、品質低下の原因にもなるので注意が必要です。

2回目の穂肥は出穂10日前頃に施用します。

●幼穂長の調べ方



【穂肥施用時期等のめやす】

品種	施用時期	幼穂長	草丈	葉色
コシヒカリ	出穂18日前	8~15mm	65~70cm	3~3.5
あきろまん	出穂24日前	1.5~2mm	70~75cm	4~4.5
中生新千本			65~70cm	
恋の予感			80~85cm	4

・幼穂長 ・草丈は長すぎないか ・葉色は濃すぎないか

➔ 確認しましょう

野菜

ナスの剪定方法と その他の野菜管理

家庭菜園の品目でもポピュラーなナスは、7〜8月の管理が最終的な収穫量を左右します。今月は、その最も代表的な管理手法「剪定技術」について紹介します。

◆剪定の意義

剪定には、無駄な茎葉を整理することにより風通しと日当りを良くして病害虫の被害を軽減すること、また収穫枝となる「側枝」の発生を促す、株に刺激を与えて活性オーキシンの分泌を促進する効果があります。

この管理を疎かにしてしまうと茎葉は伸び放題となって過繁茂となり、収穫量が減少し、品質も低下することとなります。

◆基本的剪定技術

〜初期の樹形を確認〜



ナスの基本的樹形
(主枝4本仕立)

◆この時期の剪定方法

7月下旬から8月上旬にかけて、ナスの樹は完成形を迎えます。

完成形とは、主枝（一般的には3〜4本）からの収穫が終了し、これ以降からは「側枝」からの収穫が主体となります。側枝を効率よく発生させるための剪定管理が必要です。

①摘芯



②切り戻し剪定



側枝の開花を確認したら、花の上の葉1枚を残して先を止め、すぐ下の脇芽はかいておきます。収穫時には果実の下の葉と共に切り戻し、主枝に近い位置へ側枝の発生を促すよう管理します。

主枝が株元から約180cm前後(12〜14節)まで伸長したら、養水分の転流を促進させるため先端を切除します(摘芯)。

これにより下部の茎葉に養水分が集中して充実した側枝が発生し、繰り返し収穫することが可能となります(目安として、1側枝当たり3〜4果収穫できれば理想)。

◆本圃での管理

ナスは生育期間中、水稻中生品種の約5倍の窒素成分量(50kg/10a)を必要とし、同時に果実の約90%が水分であることから剪定管理と併せ、施肥と灌水が重要になります。

家庭菜園では1株当たり30g、経営栽培では15〜20kg/10aの追

肥を施すとともに灌水します。

なお、ナスはマグネシウム(苦土)の欠乏症が発生しやすいため、粒マグ25などの苦土肥料を併せて施用します。いずれも通路に近い所へ施し、灌水も通路の際あるいは通路部に灌水して常に湿潤な状態を保つことが多収への近道です!

♪この時期の野菜管理

◆夏秋野菜

- ①オクラ：収穫と同時に、直下の葉をかき取ります。
- ②カボチャ：うどんこ病に注意!
- ③ピーマン：収穫が最大の樹勢管理。取り残し厳禁!
- ④トマト：石灰欠乏症に注意しましょう!

◆葉物野菜等

・アブラナ科作物：栽培予定地の選定・土壌診断・種子及び肥料等の準備を!
※その他詳細については最寄りのアグリセンター・営農指導員にお問い合わせください。

Information お知らせ

決算報告

J A広島中央の令和4年度決算状況について報告いたします。

貸借対照表 令和4年度(令和5年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	J A広島中央	(参考)9 J A合計	科目	J A広島中央	(参考)9 J A合計
(資産の部)			(負債の部)		
1. 信用事業資産	207,354,544	1,293,134,470	1. 信用事業負債	209,331,421	1,301,678,702
2. 共済事業資産	13,840	39,676	2. 共済事業負債	724,221	4,046,838
3. 経済事業資産	1,494,270	6,751,204	3. 経済事業負債	1,143,414	4,492,318
4. 雑資産	767,305	3,440,848	4. 設備借入金	-	69,562
5. 固定資産	8,327,348	34,178,071	5. 雑負債	934,766	3,750,355
6. 外部出資	6,248,665	47,961,832	6. 諸引当金	667,008	2,706,138
7. 前払年金費用	-	127,322	7. 繰延税金負債	-	2,625
8. 繰延税金資産	101,951	676,270	8. 再評価に係る繰延税金負債	1,287,159	3,510,368
			負債の部合計	214,087,990	1,320,256,910
			(純資産の部)		
			1. 組合員資本	8,063,081	60,663,143
			2. 評価・換算差額等	2,156,854	5,389,642
			純資産の部合計	10,219,936	60,052,785
資産の部合計	224,307,926	1,386,309,696	負債及び純資産の部合計	224,307,926	1,386,309,696

損益計算書 令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(単位:千円)

科目	J A広島中央	(参考)9 J A合計
事業総利益 ①	3,393,767	17,883,346
うち信用事業総利益	1,597,871	8,771,589
うち共済事業総利益	929,964	5,133,026
うち購買事業総利益	361,124	1,766,907
うち販売事業総利益	204,814	635,018
うちその他事業総利益	323,963	1,766,979
うち指導事業収支差額	▲ 23,971	▲ 190,176
事業管理費 ②	2,831,761	16,297,648
事業利益 ③=①-②	562,006	1,585,697
経常利益 ④	673,326	2,269,241
税引前当期利益 ⑤	394,540	▲ 1,502,080
法人税等合計 ⑥	50,438	▲ 248,893
当期剰余金 ⑦=⑤-⑥	344,102	▲ 1,253,187
当期首繰越剰余金 ⑧	3,762	2,882,367
任意積立金等取崩額 ⑨	414,673	4,311,149
出資配当代わり金 ⑩	▲ 28,909	▲ 158,054
当期末処分剰余金 ⑪=⑦+⑧+⑨+⑩	733,628	5,782,275

農機センター農繁期休日営業と盆休業のお知らせ

広島中央農機センターは、秋の農繁期の期間、次のように土・日・祝日の休日営業を実施します。

【農繁期休日営業 実施期間】
8月19日(土)~10月29日(日)

また、次の期間を盆休業とさせていただきます。休業期間中はご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

【休業期間】 8月11日(金)~16日(水)

はとむぎ茶茶茶 好評販売中!



500ml (24本入り)
2,880円 (税込)

大和町で育った「はと麦」と賀茂大地で育った「緑茶」をミックスし、すっきりとした味わいに仕上げました。はと麦の芳醇な香りと、緑茶の清涼感をお楽しみください。

お買い求めは
J A各アグリセンター
産直市で

東広島市
園芸センターより

環境制御装置導入支援事業をご紹介します

園芸センターでは、近年の変動の激しい気候の中、農作物の安定生産や省力化などが期待できる環境制御技術の普及を図っています。

これは、栽培施設に温度や湿度、土壌水分、二酸化炭素などのセンサーを取り付けて作物が最適に育つよう自動でかん水やカーテンの開閉などを行なうものです。

環境制御装置の導入を検討していただけるよう、次の補助事業を紹介します。

事業名 環境制御装置導入支援事業

対象者 認定農業者、認定新規就農者

補助率・限度額

補助対象経費の1/2、上限100万円

補助内容

- ・モニタリング総合制御盤及びセンサー付自動制御装置2種類以上を設置
- ・ビニールやパイプ等の消耗資材は対象外

申込・問い合わせ

東広島市園芸センター
Tel 082-433-4411

